

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼
第18回全国障害者スポーツ大会サッカー競技
北信越・東海ブロック予選会実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内および選手16名以内とする。
- (2) 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は選手を兼ねる監督およびコーチを含めて16名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、福井県チームを除くトーナメント方式とし、3位決定戦は実施しない。また、トーナメント戦以外に福井県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合時間は60分間（前後半各30分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
- (3) 同点の場合はペナルティーキック方式により勝敗を決定する。ただし、交流戦はペナルティーキックを実施しない。
- (4) 試合開始前に登録された交代要員のうち、5名まで交代が認められる。
- (5) 試合は、マルチボールシステムで行う。
- (6) 全てのチーム役員は、その都度1名が、主催者が設けるテクニカルエリアから戦術的指示を選手に伝えることができる。テクニカルエリアに入る者は、責任ある態度で行動しなければならない。
- (7) ベンチに入ることのできる者は、監督1名、コーチ2名、選手16名および付添者2名までとする。
- (8) 出場停止処分について、累積警告2枚で次試合に選手登録することができない。また、退場処分を受けた者についても次試合に選手登録することができない。

4 服装等

- (1) チームは、フィールドプレーヤー、ゴールキーパーそれぞれ正・副2組のユニフォームを用意しなければならない。
- (2) その他については、公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本サッカー協会検定5号球とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成 30 年 3 月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下、代理抽選の上、決定する。

なお、前回優勝したチームを第 1 シード、準優勝したチームを第 2 シードとする。

7 招集

- (1) メンバー表（監督 1 名、コーチ 2 名、選手 16 名および付添者 2 名の合計 21 名以内）は、試合ごとに試合開始 70 分前までに競技本部に提出すること。（用紙は競技本部が用意し、受付時に配布する。）
- (2) 招集時刻は、原則として試合開始 10 分前とする。ただし、前のゲームがペナルティーキック方式等により試合時間が延長した場合は、試合終了後 15 分後にキックオフとする。

8 その他

- (1) 監督会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。
なお、監督会議の時間および場所は別途通知する。
- (2) 各試合開始 60 分前にマッチコーディネーションミーティングを行う（交流戦も含む）。
- (3) ベンチは、組合せ表の左側になったチームをグラウンドに向かって左側とする。
- (4) 競技場内へは、ベンチに入ることができる者のほか、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員および情報支援ボランティアならびにあらかじめ許可された報道関係者および視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (5) 競技に関する不明な点は競技本部に、その他不明な点は実施本部に問い合わせる。
- (6) 練習球は、各チームで用意する。
- (7) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (8) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。